

授 業 科目名	【 G 】	日本史概論	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	日本史概論	その他参照			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目：【 G・H 】教科及び教科の指導法に関する科目（中社・地歴・－・－）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（中社必修・地歴必修・－・－） 科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（中社必修・地歴必修・－・－） 科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項：「日本史・外国史」（中一種免社会）、							
	「日本史」（高一種免地歴）							
サブ タイトル	「覚える」日本史から「考える」日本史へ					担当者	田中 秀典	
授業概要	【概要】	高等学校までの歴史の学習においては、知識として過去の事実を身につけるということに力点が置かれている、つまり「覚える」歴史である場合も多い。しかし、大学における歴史学は、細かな事項を暗記することではなく、その事象の意義を理解するところに主眼がある、つまり「考える」歴史でなければならないだろう。本授業では、なぜそうなるのか、それがどのような意味を持つのか、そのことによって次の時代がどう動いていくのか、物事の因果関係や考え方を学ぶことに重点を置きながら、日本の歴史の骨子について講義するとともに、その前提として最低限必要な知識の確認・整理を行う。また、それによって、今後自ら学ぼうとする人のための道標を示すものである。なお、本授業で日本の通史を扱うにあたってのキーワードを挙げるとすれば、前半回においては「土地」および「東アジアとの国際関係」、後半回においては「近代化」および「欧米との国際関係」である。						
	【到達目標】	日本史の大きな流れを理解し、それを因果関係とともに説明することができるようになる。						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－（当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎（よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－（当てはまらない）					
他科目との 関連性	歴史学概論を履修していることが望ましい。							
教科書	必要に応じて資料を配布する。							
参考書	高等学校で使用した日本史の資料集。それ以外は授業内で適宜紹介するが、最近出版されたもので手ごろなものとして、『日本史の現在』1～6（山川出版社）をあげておく。							
評価方法	毎回の授業内での小レポート等【30％】・授業最終回に実施する学習到達度の確認【70％】で評価する。							
フィードバック 方法	提出された小レポート等に対してコメントする。							
評価基準	下記授業単元の内容について、歴史的事象およびその大きな流れと因果関係について理解し、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不適切な点のある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。試験欠席など、評価不能の場合は「F」とする。							

授 業	【 G 】	日本史概論	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	日本史概論	その他参照		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	先史の社会―縄文・弥生・古墳						
	予習： それぞれの時代の道具と生活の変化について整理する。(2時間)		復習： それぞれの社会の移り変わりについて考察する。(2時間)				
2	氏姓制度と公地公民制導入への道						
	予習： 氏姓制度について整理する。(2時間)		復習： 公地公民制導入の経緯について考察する。(2時間)				
3	東アジア世界の変動と律令国家の形成						
	予習： 周辺諸国の動きについて調べる。(2時間)		復習： 律令の行政組織について整理する。(2時間)				
4	律令の変質と荘園の出現						
	予習： 律令の土地制度・租税制度について整理する。(2時間)		復習： 奈良時代の政権抗争と律令制の成立・変質について考察する。(2時間)				
5	荘園公領制の形成と武士の台頭						
	予習： 荘園制の変遷について整理する。(2時間)		復習： 荘園公領制と摂関政治との関係について考察する。(2時間)				
6	院政・平氏政権と知行国制						
	予習： 荘園・公領・知行国の違いについて整理する。(2時間)		復習： 摂関政治・院政・平氏政権の権力構造について考察する。(2時間)				
7	公武二元体制と地頭勢力の伸張						
	予習： 幕府・守護・地頭と土地・税との関係について整理する。(2時間)		復習： 鎌倉幕府・室町幕府の統治の仕組みについて比較検討する。(2時間)				
8	領国一円支配の伸展と重層的土地支配の解消						
	予習： スペイン・ポルトガルの来航に至る経緯について調べる。(2時間)		復習： 守護・守護大名・戦国大名・近世大名の違いについて考察する。(2時間)				
9	織豊政権と幕藩体制の成立						
	予習： 江戸幕府の成立に至る過程について整理する。(2時間)		復習： 江戸幕府の統治の仕組みについて考察する。(2時間)				
10	幕府政治の転換と社会の成熟						
	予習： 江戸幕府の政策転換および改革について調べる。(2時間)		復習： 江戸幕府の政策と社会の変化について考察する。(2時間)				
11	列強のインパクトと幕末維新						
	予習： 産業革命に至る欧米諸国の動きについて調べる。(2時間)		復習： 幕末の諸勢力の思考と行動について考察する。(2時間)				
12	近代国家の出発と近代的諸制度の確立						
	予習： 江戸から明治にかけて変化した諸制度について調べる。(2時間)		復習： 憲法制定・議会開設に至る経緯について考察する。(2時間)				
13	明治憲法体制の確立・変容と大正デモクラシー						
	予習： 内閣と政党の変遷について整理する。(2時間)		復習： 戦前の日本における民主的制度・風潮について考察する。(2時間)				
14	国際社会の変動と戦争への道						
	予習： 戦間期の欧米諸国の動きについて調べる。(2時間)		復習： 日本および関係諸国の戦争とのかかわり方について考察する。(2時間)				
15	占領・独立・国際社会への復帰、まとめ、学習到達度の確認						
	予習： 国際連合の成立と展開について調べる。(2時間)		復習： 戦後作られた諸制度について考察する。(2時間)				
その他	レジュメや資料を配布して講義を進めるが、履修者は高等学校レベルの日本史および古文・漢文の基礎的な知識を身につけていることが望ましい。「予習・復習」で示したポイントを参考にしつつ、積極的な姿勢で学んでほしい。 ※G・Hカリ:【選択必履修(ウ)】						